

# 特別調査

1

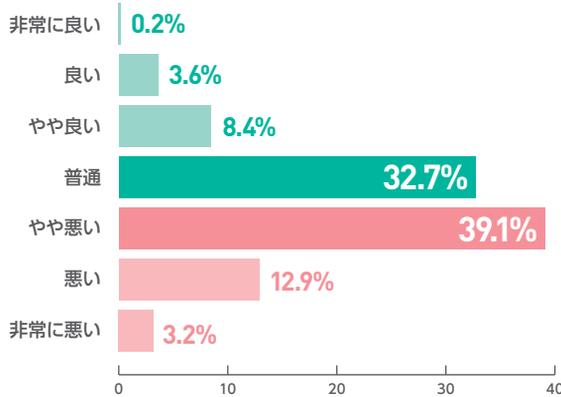
## 2025年(令和7年)の経営見通し

2025年を迎えるにあたり中小企業を取り巻く経済環境は、原材料価格の高騰、労働力不足、デジタル化の進展に対する課題に加え、収束の見えないウクライナ情勢や中東の緊張などの地政学的リスクなどにより、一層の不確実性を帯びています。今回は新しい年を迎えるにあたり、国内景気や自社における業況を中心に中小企業の皆さまがどのような見通しを立てているかについてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2024年11月13日～12月4日 調査対象企業数/1592社 有効回答数/443社 有効回答率/27.8% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

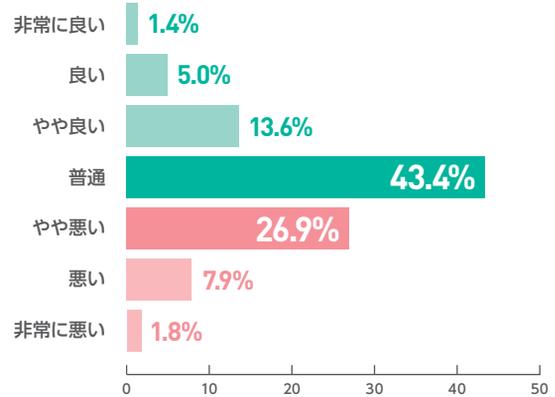
Q1

貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。 ※1つ選択



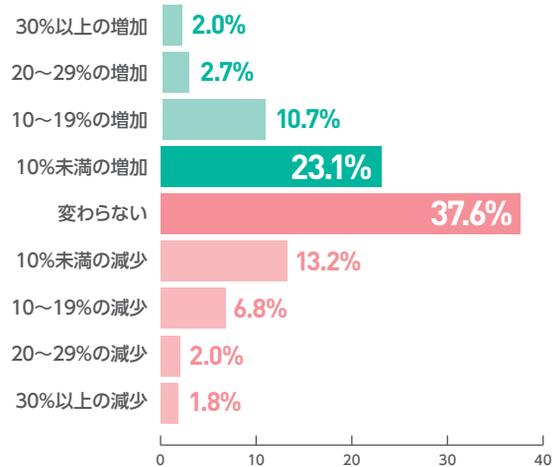
Q2

貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。 ※1つ選択



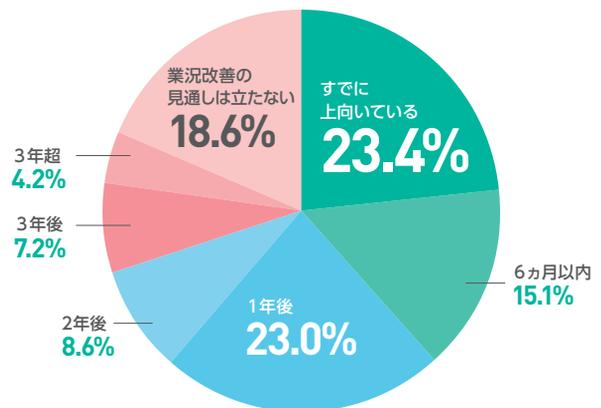
Q3

2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年比べておおよどのくらいになると見通していますか。 ※1つ選択



Q4

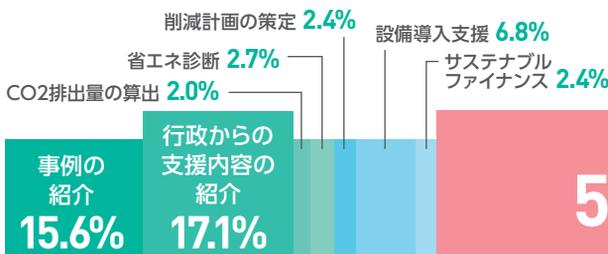
貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつごろになると見通していますか。 ※1つ選択



Q5

脱炭素化への取り組みについてお伺いします。

貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取り組みはありますか。 ※1つ選択



貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素化に向けた取り組みを行っていることを知っていますか。 ※1つ選択

